

## 国(地域)別輸出動向

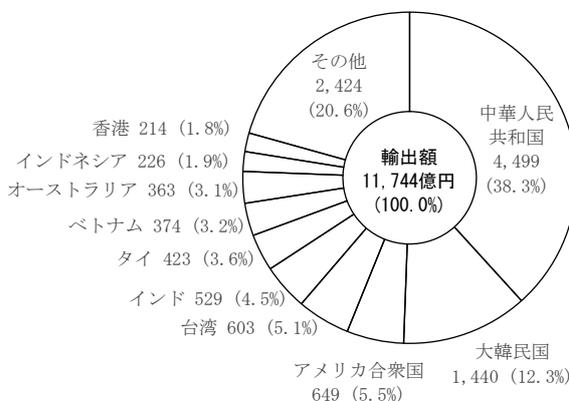
2020年における北九州港の国(地域)別輸出額及び構成比は、図-14のとおりである。

中華人民共和国、大韓民国、アメリカ合衆国、台湾、インドの上位5カ国で7,720億円となり、輸出額全体の65.7%（前年比5.8%ポイント上昇）を占める。また上位3カ国では、56.1%を占めている。

上位10カ国をみると、台湾が前年比9.1%増で第6位から第4位、ベトナムが前年比12.4%増で第10位から第7位、香港が前年比82.8%増で第19位から第10位に順位を上げた。

輸出先を地域分類別にみると、ASEAN10カ国への輸出額は前年比26.7%減の1,564億円で、輸出全体の13.3%（前年比4.3%ポイント低下）を占めている。ASEANに中華人民共和国、大韓民国、台湾、香港を加えた地域（東アジア主要地域）への輸出額は8,321億円となり、輸出全体の70.9%（前年比5.8%ポイント上昇）を占める。

図-14 北九州港の国(地域)別の輸出額及び構成比



### 1 中華人民共和国

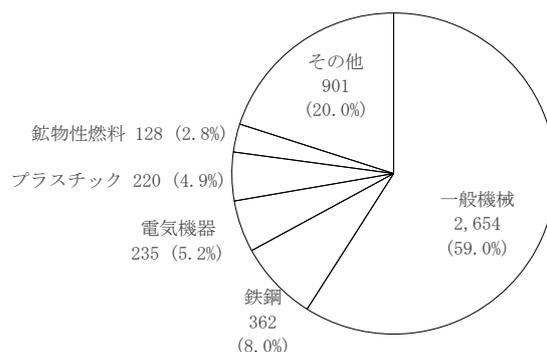
2020年の中華人民共和国への品目別輸出額及び構成比は、図-15のとおり。輸出額は前年比20.0%(749億円)増の4,499億円となった。

全体に占める割合は38.3%で前年から7.4%ポイント上昇し、20年連続で第1位となった。

品目別では、電気機器が前年第4位から第3位、鉱物性燃料が前年第9位から第5位に順位を上げた。

- 一般機械 (2,654億円、前年比24.0%増)
- 鉄鋼 (362億円、前年比9.5%増)
- 電気機器 (235億円、前年比20.6%増)
- プラスチック (220億円、前年比10.9%増)
- 鉱物性燃料 (128億円、前年比2.2倍)

図-15 中華人民共和国への品目別輸出額及び構成比



### 2 大韓民国

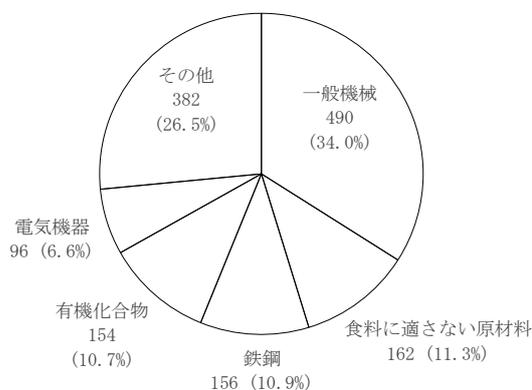
2020年の大韓民国への品目別輸出額及び構成比は、図-16のとおり。輸出額は前年比8.9%(117億円)増の1,440億円となった。

全体に占める割合は12.3%で前年から1.3%ポイント上昇し、14年連続で第2位となった。

品目別では、前年第1位の鉄鋼が第3位になり、一般機械と食料に適さない原材料がそれぞれ順位を1つ上げた。

- 一般機械 (490億円、前年比2.3倍)
- 食料に適さない原材料 (162億円、前年比5.2%減)
- 鉄鋼 (156億円、前年比31.2%減)
- 有機化合物 (154億円、前年比6.8%減)
- 電気機器 (96億円、前年比31.6%減)

図-16 大韓民国への品目別輸出額及び構成比



### 3 アメリカ合衆国

2020年のアメリカ合衆国への品目別輸出額及び構成比は、**図-17**のとおり。輸出額は前年比31.3%（295億円）減の649億円となった。

全体に占める割合は5.5%で前年から2.3%ポイント低下し、5年連続で第3位となった。

品目別では、前年第6位の有機化合物が第4位に順位を上げた。

一般機械	（206億円、前年比27.0%減）
電気機器	（97億円、前年比47.6%減）
鉄鋼	（75億円、前年比52.0%減）
有機化合物	（56億円、前年比24.0%増）
輸送用機器	（48億円、前年比31.3%減）

### 4 台湾

2020年の台湾への品目別輸出額及び構成比は、**図-18**のとおり。輸出額は前年比9.1%（50億円）増の603億円となった。

全体に占める割合は5.1%で前年から0.6%ポイント上昇し、前年第6位から第4位に順位を上げた。

品目別では、前年第6位の食料に適さない原材料が第5位に順位を上げた。

一般機械	（125億円、前年比30.2%減）
鉄鋼	（118億円、前年比42.9%増）
電気機器	（53億円、前年比12.0%増）
無機化合物	（39億円、前年比5.1%増）
食料に適さない原材料	（37億円、前年比55.4%増）

### 5 インド

2020年のインドへの品目別輸出額及び構成比は、**図-19**のとおり。輸出額は前年比18.0%（116億円）減の529億円となった。

全体に占める割合は4.5%で前年から0.8%ポイント低下し、前年から順位を1つ下げた。

品目別では、前年第6位の非鉄金属が第1位に順位を上げ、前年第3位の一般機械が前年比47.7%減で第6位に順位を下げた。

非鉄金属	（136億円、前年比6.4倍）
鉄鋼	（119億円、前年比44.2%減）
鉱物性燃料	（100億円、前年比49.0%減）
有機化合物	（58億円、前年比45.7%増）
ゴムタイヤ及びチューブ	（33億円、前年比13.9%増）

### 6 その他

第6位はタイで前年比29.2%減の423億円、第7位はベトナムで前年比12.4%増の374億円、第8位はオーストラリアで前年比18.3%減の363億円、第9位はインドネシアで前年比43.4%減の226億円、第10位は香港で前年比82.8%増の214億円と続いている。

また、北九州港の主な輸出先を地域分類で比較すると、アジア（8,880億円、前年比3.4%増）、北米（740億円、前年比31.5%減）、西欧（652億円、前年比1.9%増）の順となる。

図-17 アメリカ合衆国への品目別輸出額及び構成比

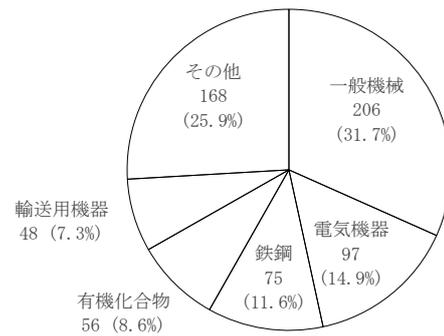


図-18 台湾への品目別輸出額及び構成比

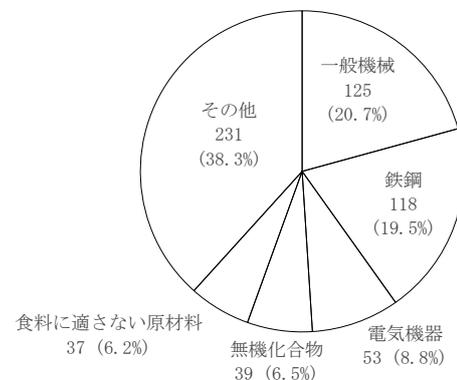


図-19 インドへの品目別輸出額及び構成比

